



名古屋市 子ども・若者 総合相談センター

名古屋市子ども若者総合相談センターは、ニート、ひきこもりなど、
さまざまな悩みをお持ちの子ども・若者（概ね39歳まで）と
その保護者の方などが相談できる場所です。
専門の相談員が、どんな悩みもじっくりお聞きし、
一緒に解決方法を探します。



名古屋市子ども・若者総合相談センターは
一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト◆現場支援
特定非営利活動法人 起業支援ネット◆事務局
の2社の**コンソーシアム**により運営しています



名古屋市子ども・若者総合相談センターの5つの機能

子ども・若者を対象とした相談のワンストップサービスセンターとして
2013年6月に開設されて以来、まる11年になります。

開所以来変わらず目指し続けているのは

- ①相談者さんの生活圏まで私たちが出向いて行く
アウトリーチ機能
- ②子ども・若者を一つの解決方法に当てはめず、
オーダーメイドの支援をする
- ③関係性をつなぐ**同行機能**
- ④官民のあらゆる多様な方々と連携しながら、最終的には
自立できるようになるまで見届ける**ネットワーク機能**
- ⑤本人をとりまく環境にアプローチする**家族支援機能**

名古屋市子ども・若者総合相談センターの概要

＜子ども・若者育成支援推進法に基づき、2013年6月開設＞

開所日：月曜～土曜（祝日、年末年始を除く）

本部

（市教育館8階）

 総合受付・
個別相談支援
（0歳～概ね39歳）

受付：10時～17時
（時間は柔軟に対応）

よいそい
サポーター



 個別相談支援
金山事務所
相談時間：10時～17時
（応相談）

MoiMoi

OPEN：14時～21時
※ご利用は15歳～概ね39歳



SNS相談

相談時間：17：30～21：30
※ご利用は15歳～概ね39歳
とその保護者
市内の高校に在学中の方

NEW

虐待・貧困により
孤立し様々な
困難に直面する
学生等への
アウトリーチ支援

令和6年度より

令和5年度 名古屋市子ども・若者総合相談センター実績

◆個別相談

- ・相談者実数：**1,028人**
- ・延べ相談件数：**9,691件**
- ・訪問支援（アウトリーチ）：
3,422件（**509人**）
- ・ケース会議：**1,055回**

◆連携機関数：

357 機関
（延べ機関数 **5,486件**）

◆もいもい

- ・利用登録者数：**1,553人**
- ・のべ利用者数：**5,842件**

◆LINE相談

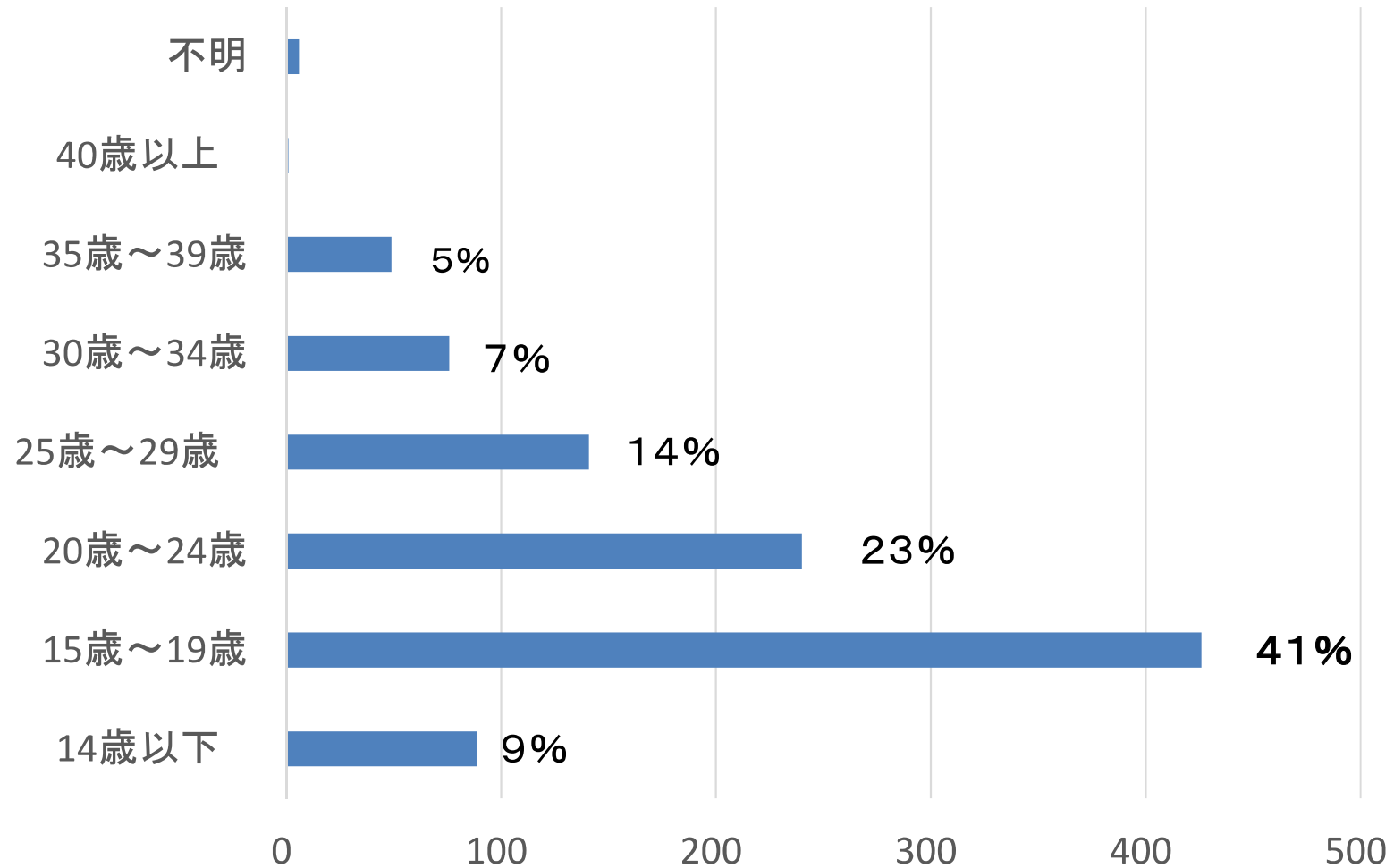
- ・相談登録数：**4,328人**
- ・延べ相談件数：**3,002件**

◆ボランティア（よりそいサポーター）

稼働数：**1,025件**
登録数：**263名**

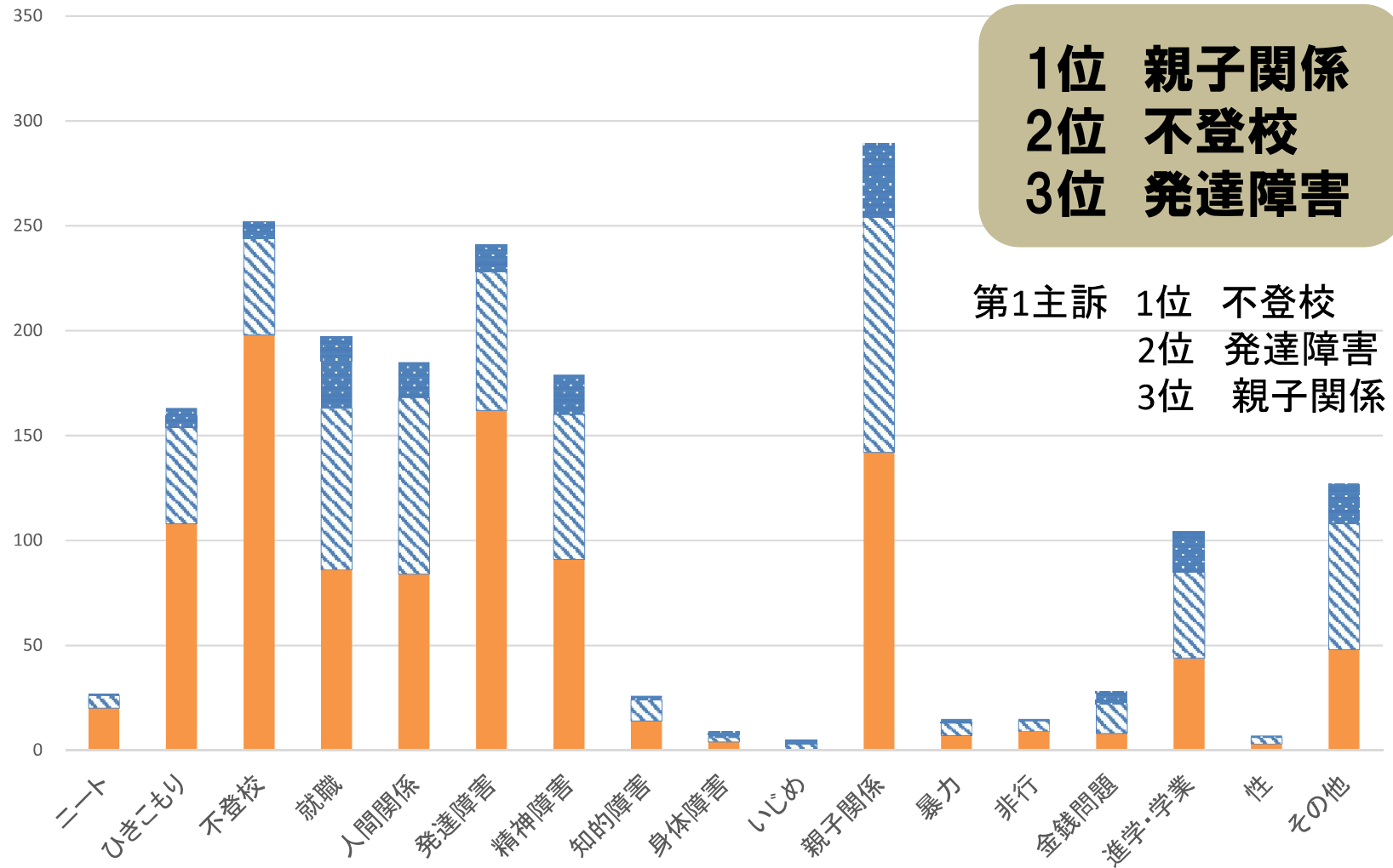
相談対象者の年齢

令和5年度実績



相談の主訴

令和5年度実績



若者の2人に1人は「死にたい」と思ったことがある

i

2人に1人が希死念慮経験を持ったことがある

希死念慮経験（全体）

(n=14,555)

全体では44.8%が希死念慮を持った経験あり

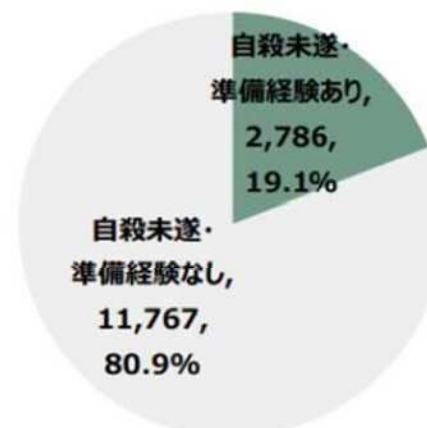


本調査では、「あなたはこれまでに死ねたらと本気で思った、または自死の可能性を本気で考えたことがありますか。ある方は、そう思ったのはいつですか。」との設問に、「小学校入学前」「小学生」「中学生」「高校生(16～18歳になる年)」「大学生・専門学校生(19～22歳になる年)」「23歳以上」「時期は覚えていないが、ほとんどいつもこの状況である」「時期は覚えていないが、この状況になったことがある」を選択した者を「希死念慮経験あり」、「いずれもない」を選択した者を「希死念慮経験なし」と分類している。

自殺未遂・自殺準備の経験

(n=14,553)

5人に1人は自殺未遂・自殺準備の経験があり、希死念慮経験者の4割が自殺未遂経験を持つ



本調査では、「あなたはこれまでに自殺を図った、または遺書を書くなどの自殺の準備をしたことがありますか。」との設問に、「小学校入学前」「小学生」「中学生」「高校生(16～18歳になる年)」「大学生・専門学校生(19～22歳になる年)」「23歳以上」「時期は覚えていないが、ほとんどいつもこの状況である」「時期は覚えていないが、この状況になったことがある」を選択した者を「自殺未遂・自殺準備経験あり」、「いずれもない」を選択した者を「自殺未遂・自殺準備経験なし」と分類している。

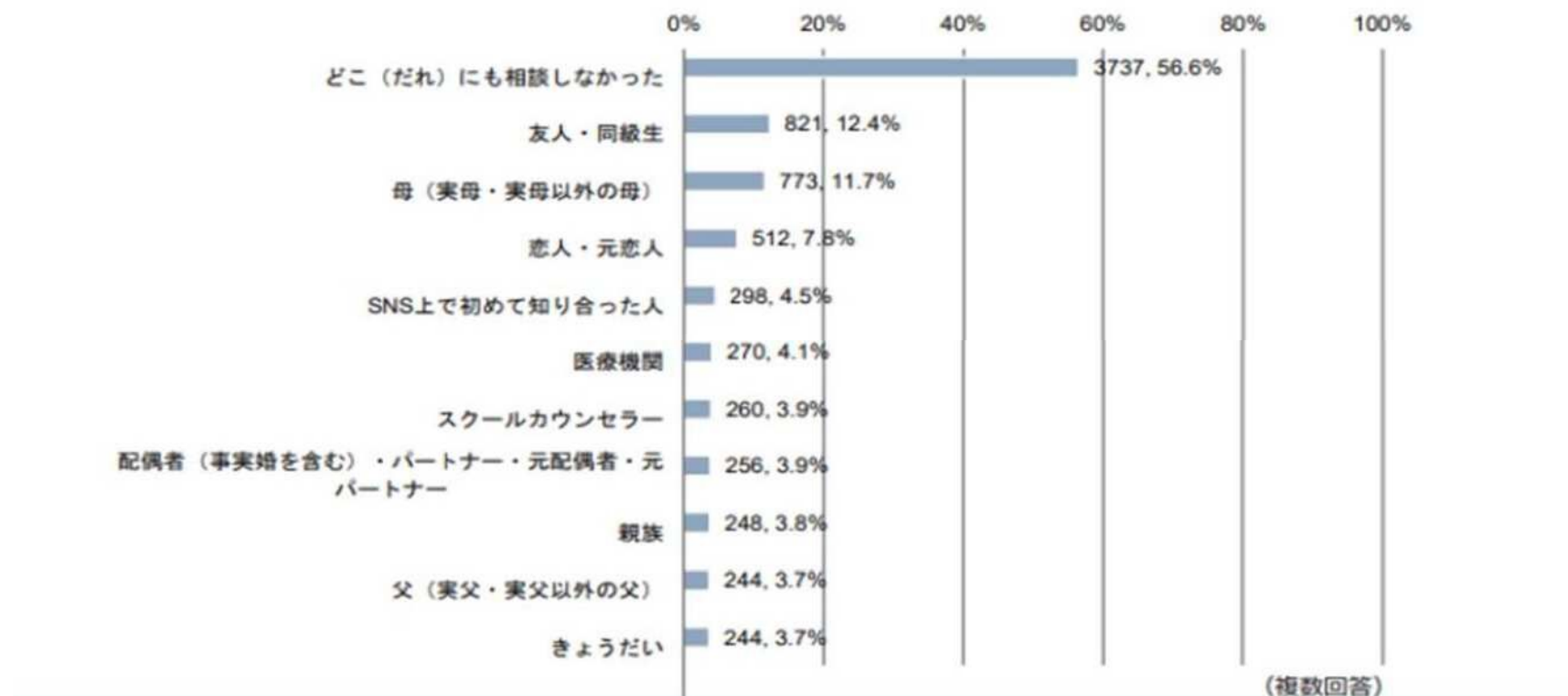
■ 調査対象／ 全都道府県の18歳～29歳の男女 ■ 有効回答数 / 有効回答数: 14,819件

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

令和4年度実施 日本財団「自殺意識調査」より抜粋

希死念慮に関する主な相談先(3%以上) n=6,605

死にたいと思う若者の**半数以上**が友人にも誰にも相談していない



令和4年度実施 日本財団「自殺意識調査」より抜粋

軽度知的障害

親の暴力により支配され、怯えながら生活をしている

発達障害

親の価値観を押し付けられて育ち、期待に応えようとするものの苦しくなり、できない自分が悪いと思う。死にたい

親が障害を受け入れられないため、否定され続けて育つ。
自己肯定感が低い

ヤングケアラ―

暴力で家族を支配

親の過干渉により、自己決定ができず共依存に

兄弟と比較され、自分は愛されていない、生まれてこなければよかったと思う



希死念慮

虐待は児童相談所につながりやすいが、
家庭で閉じて見えにくい問題は。。。。

＜深刻な相談が増える一方の中で必要な機能＞

火種が小さいうちに繋がる仕掛け

選択できる
多様な入口

ハードルの低い
相談窓口体制

オープンスペース
MoiMoi



SNS相談

NEW

「虐待・貧困により孤立し様々な困難に直面する学生等への
アウトリーチ支援」 **食料・生活物資の支援**

オープンスペース

MoiMoi

施設概要

開所時間: 月～土(日・祝以外)14:00～21:00

利用対象: 名古屋市内在住の15～39歳まで

利用料金: 無料



MoiMoi では、
相談につながりにくい子ども・若者に対して、
早期にアプローチすることを目的としています



**全天候型 ・ 茶菓子無料 ・ 電源無料
WI-FI無料 ・ 利用費無料 ・ 毎日開いている
最大24年間利用可能(15~39歳まで)**

「気軽に立ち寄れる」サービスを追求した結果
“快適さ” から抜け出せない利用者が増えた



“自分たちの場所” という常連が増え、

新たな層が利用し辛い場に変化してしまった

交流を求めて次々と異性に声をかける…
仲間同士でないとイベントに参加できない…
就職後も新天地で向き合うことを避けもいもいコミュニティを求め来所
など…

2023年8月に運営方法の見直しを実施！！

利用者の利用目的と
スタッフ側の“利用者の目標を応援したい”
想いをシェアできるような仕組みづくり

- ①初回利用時のオペレーションの大幅変更
- ②レイアウト変更と、利用目的によるエリア分け
- ③自然な交流が起りやすいイベントの実施
(カフェイベント等)



“場全体”で応援できるMOI MOIへ

見直しによる変化

友人・知人からの紹介による**高校生の利用の大幅な増加**

「勉強」や「作業」を第一目的としている人の来所が増えたことにより、かつて発生していた**ナンパのような交流が減り、トラブルが極端に少なくなった**

セミナールームを常時何でもできる場から、曜日毎に決めたプログラムを実施することで、**自然な交流が生まれるようになった**

受付で**スタッフを独占する利用者が減り**、ドリンクサーバーの横に掲示したクイズに答える時の会話やさりげない会話など、受付での会話が2～3割程度となった

SNSの交換を禁止するなどのルールを作ったことで、女性利用者の方から「**安心して過ごせる場所になった**」とのコメントが！

LINE相談の概要

3名体制で実施

名古屋市子ども・若者総合相談センター

 **LINE相談できます**

嬉しかったこと、つらい気持ち。
ちょっとしたことでも
気軽にお話ししてください

家族のこと
仕事のこと
さみしい
友だちのこと
勉強のこと
学校のこと

ID: @cowaka758.line

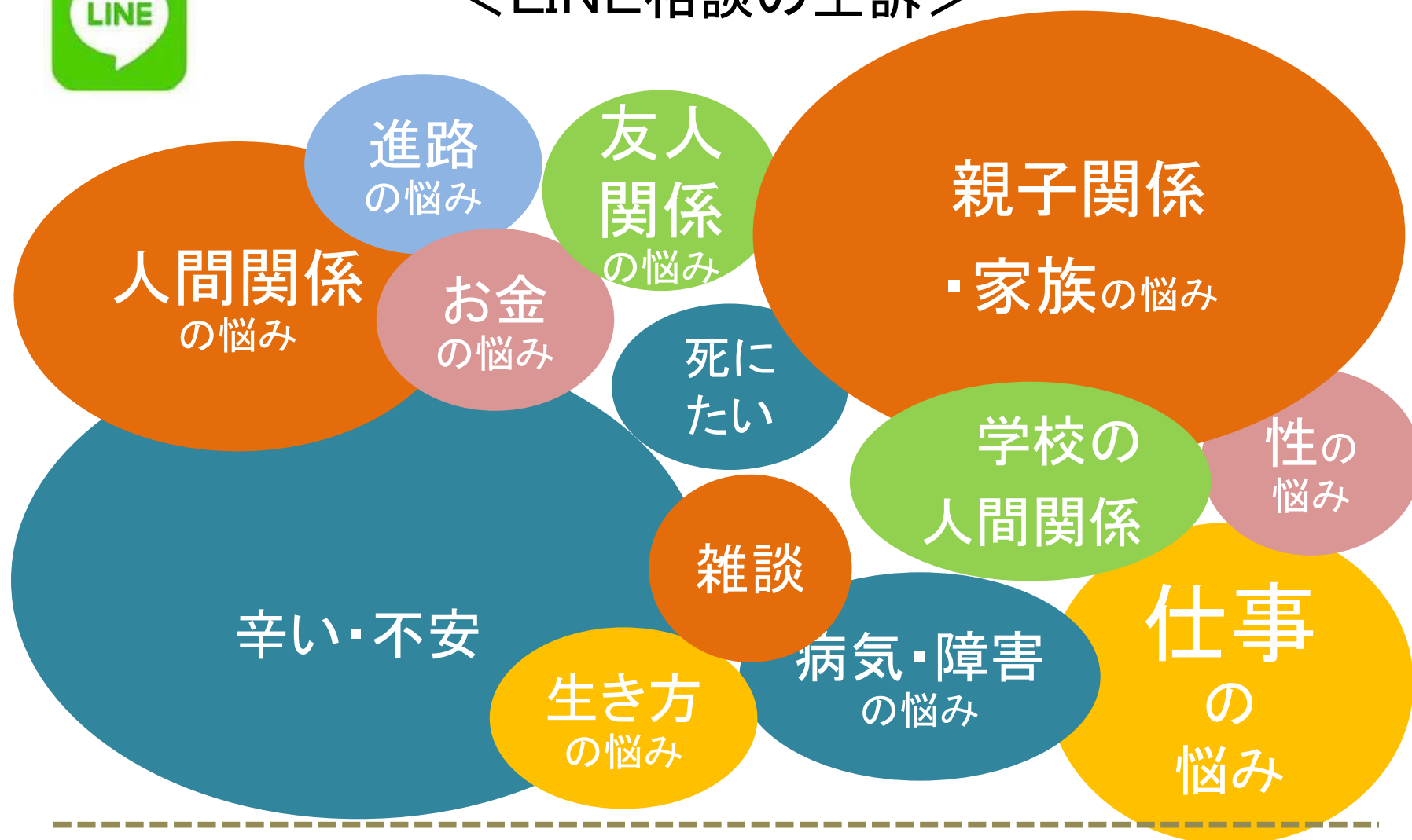
相談できる方
15歳から39歳の
名古屋市在住の方とその保護者
名古屋市内の高校に在学中の方

実施時間
月曜日から土曜日の
17:30-21:30(受付は21:00まで)
※祝日・年末年始を除く

 友だち追加



<LINE相談の主訴>



<友達登録者数> 4,328人 <会話成立数> 3,002件

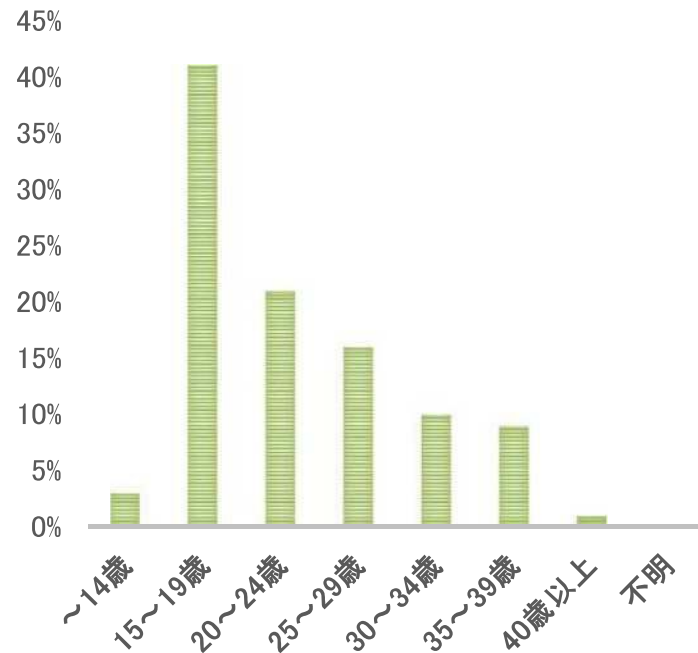
1日7～15件(時間延長期間～24件)

令和5年度実績

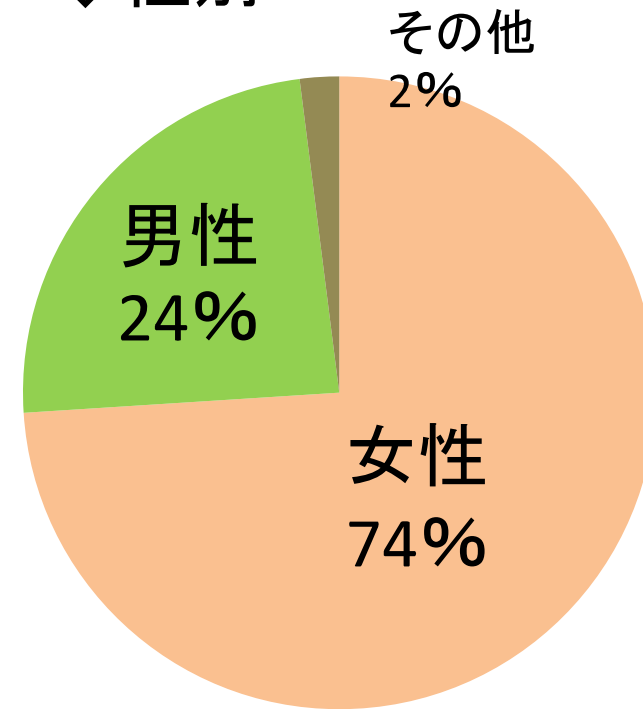


LINE相談者のプロフィール

◇年齢



◇性別



令和5年度実績

LINE相談での事例

◎夜になると希死念慮が生じ、自身の考えや気持ちの言語化が苦手(20代・女性)

◎大学で教授や友人へ話しかけられない・言葉がでない等、コミュニケーションに対して不安を抱く学生(10代・男性)

◎障害をもち実家暮らし、親との関係が悪く、自宅で安心して過ごせない(30代・女性)

◆親の価値観を押し付けられ、束縛されて苦しい。家を出てひとり暮らしをしたいのに、無理だと言われわかってくれない。生まれてこなければよかった。死にたい。(20代・女性)

◎一緒にいる友人が皆にちやほやされているように見え、妬ましく感じる。母は兄ばかりかわいがり、愛されていないと感じる。誰かの一番になりたい自分は欲張りなのか。(10代・女性)

<若者の指向性に合わせた機能の強化により>

フェイズ①

支援機関: **2**

保護者: **6**

本人: **2**

フェイズ②

オープン型
交流スペース
本人率 **100%**

SNS相談
「ライン相談」
本人率 **81%**

	オープン型交流スペース	SNS相談「ライン相談」
発見機能	・青信号のふりのできる場所 ・世間話からスタートして相談へ ・家族と距離を置ける場所	・「電話」「対面」ストレスからの解放 ・漠然とした悩みの段階で相談OK ・毎日(繰り返し)来られる
経験機能	・同じ目的を持った人との交流 ・目標へ後押しをしてもらう経験 ・多様な価値観に触れる経験	・愚痴を聞く「家族」の代替え機能 ・「悩みを言葉にすること」の経験 ・話すことで問題が整理される経験

潜在的な困りごとを抱えた本人からの相談を直接キャッチ!

フェイズ③

食料・生活物資支援

地域のやさしい循環を生む

孤立・の生活困窮や心身の不調等様々な困難に直面している、またはそのおそれのある若者を把握し、寄付等による生活支援物資をアウトリーチ型で提供しながら必要な相談支援先へつなげる

国:こども家庭庁
モデル事業

名古屋市

企業・団体

寄付

大学等の教育機関

配布イベント

名古屋市
子ども・若者
総合相談センター

困窮支援
コーディネーター

ストックサテライト
民間団体

配布

郵送



